

8708 「そろそろ出るか？」と私は・・・

「そろそろ出るか？」と私は亜紀子を促した。

「そうね・・・」と亜紀子は答えて、店から通りへ出た。

亜紀子は坂の下に広がる夜景を凝つと見ていた。パール・パープルのチャイナ服が、白い街灯に照らされて鮮やかに浮び上がっていた。私は尋ねた。

「この二年間・・・、普段はどんな身なりをしていた？」

「いつも、作業服の上下を着ていたけど・・・」

「じゃあ、その服は普段着なんかじゃないな？」

「そうね」

亜紀子は笑みを浮かべて言った。

軒 上 泊 『ハーバーライト』

[許容訳例]

"Shall we be leaving?" I suggested to Akiko.

"I suppose so," she answered, so we went out of the restaurant into the street. Akiko stood gazing at the night view spread out beneath the slope. The pearl purple Chinese dress she was wearing stood out bright in the white street light.

"These two years..." I said to her, "what kind of clothes have you been wearing?"

"Most of the time I wore working overalls."

"So the dress you're wearing isn't an everyday one, then?"

"No, I suppose not," she said, smiling.

[翻訳例]

"Hadn't we better be going?" I suggested to Akiko.

"I suppose so," she replied, so we left the restaurant and went out into the street. Akiko stood gazing at the night view spread out at the foot of the slope. Her pearl-purple Chinese dress stood out vivid in the white light of the street lamps.

"The past two years..." I said, "what kind of clothes did you wear?"

"Actually, I was in two-piece working clothes most of the time."

"So the dress you're wearing isn't an everyday one?"

"No, I suppose not," said Akiko with a slight smile.

■ 「そろそろ出るか？」と私は亜紀子を促した。 (8708)

★ 「そろそろ出るか？」は「もうかなり長いこといたんだから」というニュアンスが含まれていますが、わざわざ We have been here a long time.と加える必要はないと思います。（なお、a long time の代わりに long を使っても文法的には間違っていませんが、実際には、特に

会話では使いません。) それから「出るか」は「(外に) 出る」ことを強調しているのではなく、「帰ることを意味していると思います。ですから Let's go out, shall we? を使うなら out を取って Let's go. で十分なのですが、これは「促した」に suggest を用いるなら問題です。それから、 Shall we be leaving [going]? でもいいですが、これでは「そろそろ」が含まれていません。それで、「そろそろ出てもいいんじゃないか」と考えて Hadn't we better be going? とした方が日本文に近いと思います。この表現は分析するとむずかしいのですが、「もうそろそろ帰った方がいいだろうな」といったニュアンスです。なお、英語の肯定文を否定的に訳したほうが日本語的になることが多いのですが、ここはその逆です。

★「と私は亜紀子を促した」は I suggested to Akiko. しかないでしょう。なお、 suggest を使うときには、普通、自分の提案に対する相手の返事を期待して‘～はどうだろう・～をどう思うか’というニュアンスが入ってきます。したがって、これには提案の疑問文が先行する必要があります。たとえば, "Why don't we go soon?" I suggested. のように。ただし、 suggest は伝達動詞にはならないので、 *I suggested, "Why don't we go soon?" とは言えません。ですから、ここで*I suggested to Akiko, "...?" という形で使うことは出来ないです。

■「そうね・・・」と亜紀子は答えて、店から通りへ出た。 (8708)

★「そうね・・・」は「そうね」(Yes, let's)と短く同意したわけではなく、ちょっと迷って思案のニュアンスですから I suppose so. がいいです。これは「本当はそうしたくないが」というような場合に使うことの出来る表現です。

★「亜紀子は答えて、・・・」ですが、英語の習慣としては、やたらに固有名詞を繰り返しません。ここは「彼女は答えて、・・・」として she answered [replied] とします。

● [(し) て] (そうして・それで)

「答え [て]」の [て] は「動作順次」として and でもいいのですが、「それで」(so)としてもいいです。

★「店から通りへ出た」の「店」は「そろそろ出るか」という言葉から「レストラン」とか「コーヒー・ショップ」と考えることが出来ます。また、ここでは「店を出る」ことよりも「通りへ出た」ことを伝えたいですから、そこに伝達の比重がかかるようにしなければなりません。それで「店から通りへ出た」を「店を出て、通りに出た」として we went out of the restaurant into the street とか we left the restaurant and went out into the street とします。なお、主語は she にしてもいいでしょう。

■亜紀子は坂の下に広がる夜景を凝つて見ていた。 (8708)

●「連体修飾節 + 不定代名詞的体言」(坂の下に広がる夜景)

「坂の下に広がる夜景」は「坂の下に広がっている夜景」のことです。ここは「連体修飾節 (坂の下に広がっている) + 不定代名詞的体言 (夜景)」ですから、英語では「名詞(the night view) + 関係詞節(which was spread out at the foot of the slope [beneath [below] the slope])」です。なお、 the night view which spread out from the foot of the slope でも許されるでしょう。なお、「景色」は view です。sight は「一回限り、この瞬間の光景」ですし、

scene は「動きを伴う光景」、たとえば、the night scene on the Ginza というと、人や車の往来する夜の銀座の情景ということになりますから、ここで使うことは出来ないでしょう。

★「凝つと見ていた」という日本語は「じっと（副詞）+見ていた（動詞）」という「副詞+動詞」の組み合わせから出来ていますが、英語で同じように「動詞(gaze at ~)+副詞(fixedly)」と組み合わせると、副詞の意味が強調されることになるのが普通です。それで、副詞の意味を含んでいる動詞(gaze)だけで Akiko was gazing [gazed] at ~あるいは「(出てみると) 亜紀子は立って~見ていた」ととらえて Akiko stood gazing at ~とすると情景が立体的になります。

●文構造

「亜紀子は坂の下に広がる夜景を凝つと見ていた」は「見ていた」が知覚動詞ですから 'gaze at + the view + spread [spreading]…' という構造になります。したがって、「名詞(the night view) + 関係詞節(which spread out at the foot of the slope [beneath [below] the slope])」の関係代名詞は省いて原形あるいは分詞にして gaze at ~ に繋ければよいことになります。

■パール・パープルのチャイナ服が、白い街灯に照らされて鮮やかに浮び上がっていた。
(8708)

★「チャイナ服」は「チャイナ産の服」という意味ではなく「チャイナスタイルの服」という意味ですから「パール・パープルのチャイナ服」は「彼女の（着ている）パール・パープルのチャイニース服」として the pearl-purple Chinese dress she was wearing とするか、she was wearing の代わりに her を先頭に置いて her pearl-purple Chinese dress とするかです。ただ、「中国茶」を Chinese tea の代わりに China tea を使いますから China dress でも通じるかもしれません。

★「白い街灯に照らされて」は街灯の支柱が白いのではなく「街灯の光り」が白かったと考えるのが普通でしょう。したがって、「街灯の白い光りに照らされて」と改めて, in the white light of the street lamps とします。なお, in the white street light でも意味はわかります。

★「鮮やかに浮かび上がっていた」の「鮮やかに」(brightly)は「浮かび上がり方」を言っているのではなく「浮び上がった結果が鮮やかであった」のです。したがって, was seen brightly と「鮮やかに」を副詞ではなく、形容詞を補語的に使って stood out bright [vivid] とします。

★「浮かび上がっていた」は was seen では弱いですし、誰かに見られていたという感じが強くなります。「浮かび上がる」には stand out という動詞があり、これは、たとえば、The white letters stood out against [from] the black background.（黒地に白い文字が鮮やかなコントラストでくっきり描かれていた）という感じになります。辞書には float out が出てきます。間違いではありませんが、これはいかにも浮いている感じで、たとえば、上の例を The white letters floated out against [from] the black background. とすると、何か酔っているせいか、夢でも見ているせいか、白い文字が浮き上がっていた、というニュアンスになります。

■私は尋ねた。 (8708)

★「私は尋ねた」で日本語では切っていますが、これは次の「この二年間・・・,・・・」

の伝達動詞ですから、そのまま I said. と切るのではなく I said: …のようにコロンにするか、挿入して直接話法を続けるかしなければなりません。なお、I said の代わりに I asked を用いることも出来ます。

■「この二年間・・・、普段はどんな身なりをしていました？」(8708)

★「この二年間」は these two years; the past two years ですが、前者を用いる場合は現在完了、後者の場合は過去時制です。

★「普段はどんな身なりをいた？」の「普通は」は時制に含まれてしまうので、「どんな種類の服を着ていた？」と考えて What kind of clothes did you wear [have you been wearing]? とします、なお、How did you dress? でもいいでしょう。

■「いつも、作業服の上下を着ていたけど・・・」(8708)

★「いつも」は、ここでは「いつも必ず」という意味ではなく「大抵の時」と考えるのが普通です。most of the time です。なお、most of the time は「時の副詞（句）」なので、文末が普通ですが、先頭に出してもかまいません。

★「作業服の上下」とは「つなぎの作業服」(working overalls)ではなく「上下に分かれている作業服」という意味です。two-piece working clothes です。

★「～を着てた」は I was in ~か I wore ~です。

★「けど・・・」は「どうしてそんなことをきくの？」という感じなので「大抵いつも、上下に分かれた作業服を着ていたけど（どうして？）」と考えて actually を加えて Actually, I was in [I wore] two-piece working clothes. とします。

■「じゃあ、その服は普段着なんかじゃないな？」(8708)

★「じゃあ、・・・じゃあないな？」は Then, ..., is it? か、あるいは Then を So にするか、あるいは So ..., then と重ねるかでしょう。

★「普段着」は「日常着る服」と考えて、「いま着ている服は日常着る服じゃないな」として The dress you're wearing isn't an everyday one. とします。なお、isn't an everyday one は「いろいろ持っているだろうがそれは普段着のうちに入らない」という意味合いになります。代わりに your everyday wear としても構いませんが、これは「普段それを着ているわけではない」というニュアンスになります。なお、辞典には casual wear [clothes] もでていますが、デザイナー用語としてはありますが、これはスタイル・デザインの上で formal [office] wear と区別する言葉ですから、ここでは使えません。

■「そうね」(8708)

★「そうね」は相手の言ったことに同意したことをあらわします。日本語では否定で聞いていることに対して「そうね」と言っているのですが、英語では否定で聞かれても肯定で聞かれても、そうでないなら「いいえ」ですから、「そうね」は「そうじゃないわ」ということで (No,) I suppose not. です。なお、これは「言われてみればそうなるでしょうね」というニュアンスですが、はっきり「そうね」という場合なら No, it isn't. です。

■亜紀子は笑みを浮かべて言った。(8708)

★「亜紀子は笑みを浮かべて言った」は「・・・して・・・した」ですから、「主動詞（言った said）+句（笑みを浮かべて, smiling/ with a (slight) smile）」です。 slightを入れた方が「笑みを浮かべて」に近いように思います。